

125 マキノセンニュー (スズメ目)

Locustella lanceolata

兵庫県ランク:要調査

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:調

環境省ランク:NT(準絶滅危惧)

種の概要

北海道、本州中部の山地では夏鳥、本州での詳しい生息状況は不明だが、ほとんどは旅鳥とされる。兵庫県では主に4-5月と10-11月に記録がある。草原に生息し、草の中を移動しながら昆虫類やクモ類を採食する。通常、単独かつがいで生活し群れにはならない。

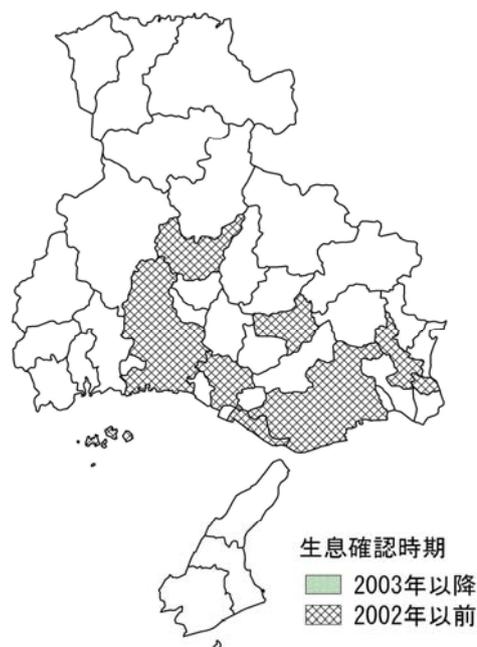
写真なし

国内分布

北海道、南千島、本州、粟島、舩倉島、見島、四国、九州、草垣諸島、与論島、沖縄島、与那国島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

(神戸市)、(姫路市)、(明石市)、(伊丹市)、(加古川市)、(宝塚市)、(加東市)、(神河町)



主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

Cランクから要調査に変更。
渡りの時期に記録されるが多くはない。深い草むらの間や地面近くを潜行し、人が近づいても飛び立つことが少なく、観察されにくい。2000年以降の生息状況が不明なため、要調査に変更した。

保護上の留意点

県内における分布および生息に関する調査が必要。また、主要な生息地である自然環境の残る草原やヨシ原の保全と再生が重要。